

JICA のアプローチ

地域別・課題別の取り組み

JICAは、「信頼で世界をつなぐ」というビジョン達成のため、約150の国・地域で活動しています。

活動にあたっては、各国や地域の事情を考慮した国別・地域別アプローチとともに、各開発課題に応じた専門的なアプローチで事業計画を策定し、相手国政府や多様なパートナーと連携して取り組んでいます。

地域別の取り組み

地域・国ごとの
現状やニーズに則して

一口に開発途上国といっても国・地域ごとの状況、開発課題は大きく異なります。現場の多様なニーズを分析し、日本政府の政策・公約やJICAの持つ協力形態・事業規模を踏まえ、戦略的にプログラムを形成し、劇的に変化する世界情勢に合わせて柔軟に事業を実施しています。

課題別の取り組み

4つのP：事業の目標を示すキーワード

P PROSPERITY

「質の高い成長」の基盤と原動力の
確保のために

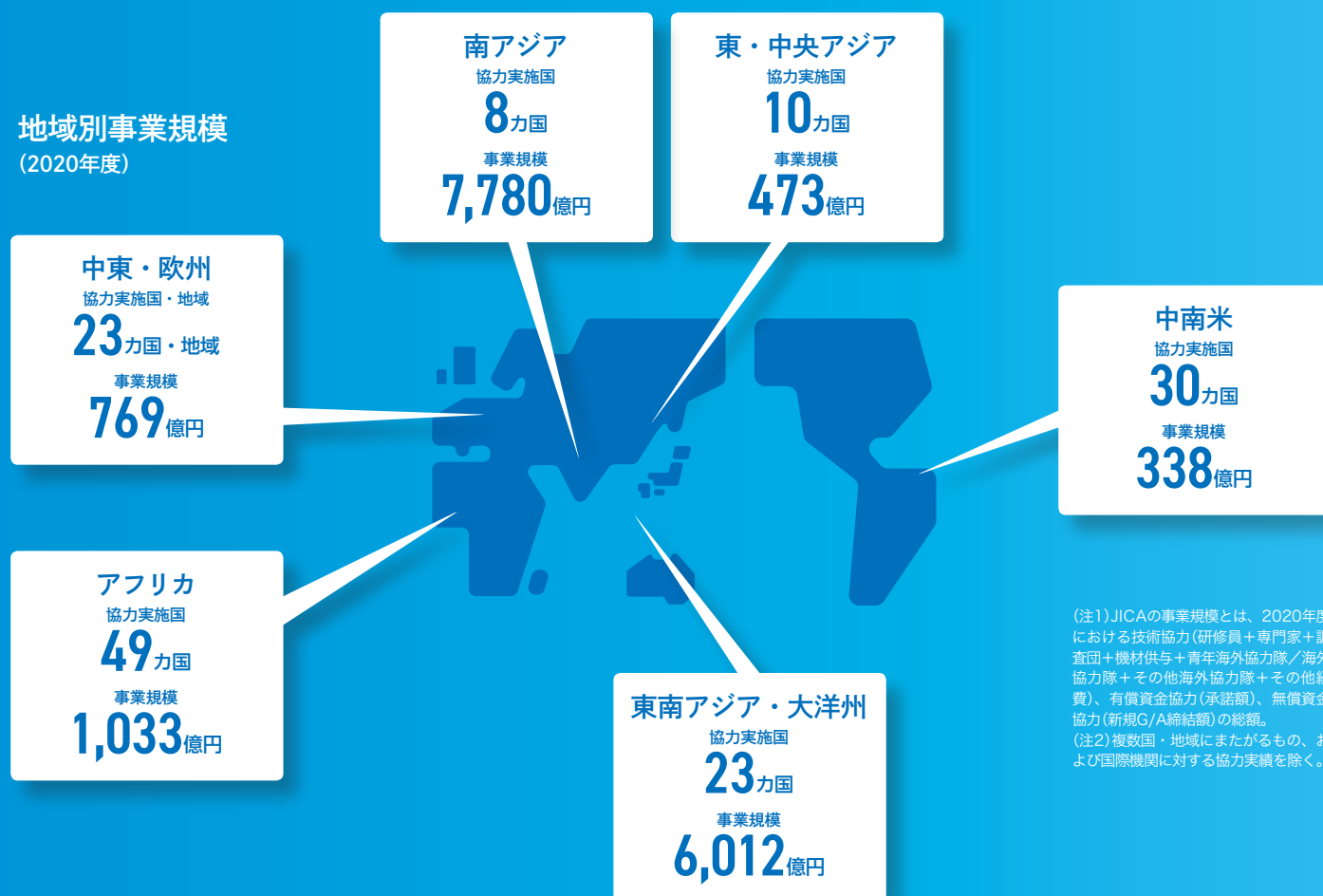
- 都市・地域開発
- 運輸交通
- 資源・エネルギー
- 民間セクター開発
- 農業・農村開発(持続可能な食料システム)

P PEOPLE

誰もが健康で、安心して暮らせる
社会のために

- 保健医療
- 栄養の改善
- 教育
- 社会保障・障害と開発
- スポーツと開発

地域別事業規模 (2020年度)



(注1) JICAの事業規模とは、2020年度における技術協力(研修員+専門家+調査団+機材供与+青年海外協力隊/海外協力隊+その他海外協力隊+その他経費)、有償資金協力(承諾額)、無償資金協力(新規G/A締結額)の総額。
(注2) 複数国・地域にまたがるもの、および国際機関に対する協力実績を除く。

JICAは、開発途上国が直面する課題を4つのP (Prosperity、People、Peace、Planet) に整理し、それぞれの課題ごとに事業戦略を定めて課題解決に取り組んでいます。

PEACE

恐怖や暴力のない、
平和で公正な社会のために

- 平和構築
- ガバナンス
- 公共財政・金融システム
- ジェンダー平等と女性のエンパワーメント
- デジタル化の促進 (DX)

PLANET

地球環境を守るために

- 気候変動対策の推進・主流化
- 自然環境保全
- 環境管理
- 持続可能な水資源の確保と水供給
- 防災・復興を通じた災害リスクの削減